

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい者多機能支援施設 きらきらWITHYOU		
○保護者評価実施期間	R7年12月1日		R7年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	R7年12月1日		R7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児が季節の変化を感じられるように壁画作成している。	毎月、壁画作成を行い、それぞれの利用児の状態を考慮し、一緒にできるものを考えて作成に参加してもらっている。季節にあったテーマを選び、子どもが観ても楽しめる内容になるように工夫している。	利用児がもっと興味関心を持つようなテーマ選びや創作方法の模索を行います。
2	利用児が安心して通所できるように、積極的にご家族や学校等と情報共有に取り組んでいる。	送迎時に保護者、ヘルパー、学校の先生との引き継ぎ時お互いの利用児の細やかな情報共有を図っている。また、送迎時のみではなく、学校等と連携し利用児やご家族が安心して生活できるように情報共有を行っている。	これからも関係機関と、より連携を図りながら、安心して通所できるように取組みます。
3	経験があるスタッフの配置と個別対応も行える人員配置。	重度心身障がいの経験豊富な看護師、放デイ経験豊富な保育士の配置。利用児、保護者のニーズ等を踏まえ、健康面にも配慮した個別的な対応がとれるように取り組んでいる。	専門性を更に活かしながら、各利用児の健康面や支援の充実を図り、できることを増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基準スペースの確保はできているが、利用人数によってはやや狭さを感じる部分があるため、安全・安楽に過ごせるスペースの確保にも努めていきたい。	利用人数が増えた際に、十分なスペースが取れるかが課題。	物品の配置や動線確保等の工夫が必要。
2	安心、安楽に過ごす為の物品が不十分	送迎時の車いすやカーシート、通所中に過ごす座位保持等が不足している。	個別性に対応できるような物品の購入検討。
3			